

学校名	中川中学校	
ホームページURL	生徒数 5 名	
(1) テーマ 「環境を見つめて」 ～ 焼却炉が消えた～ テーマの分類 (- ウ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他(縦割り) 該当学年 1～3 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・学校の焼却炉が廃止されたことに疑問を持った生徒が、環境問題に目を向け、ゴミを減らす方法を考えたり、自分たちでできるリサイクルを実践したりすることで、環境を大切にしようとする意識を高める。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 学校の焼却炉が消えた理由を考え、環境問題の現状を知る。 <方法>話し合い、役場や図書館で調べる。家や学校でのゴミの量や中身を調べる。 ゴミを減らす方法を考える。 ゴミで役立つものを作る。 つくったものや活動経過を全校に発表し、活動のまとめをする。 時数(35)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・担当職員1名が主として指導する。 ・必要に応じて専門教科の職員が指導する。 ・役場の厚生課の方、リサイクルサークルの方に指導を受ける。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・生徒自身の「発想」「計画」「実行」「評価」というサイクルで活動を深める。 ・生徒が自ら主体的に活動するために、指示は少なくして、学習が深まるような質問を多くする対話形式で助言する。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・自己評価、相互評価を毎時間取り入れる。 ・活動の内容だけではなく、進め方、調べ方、発表の仕方などの方法に関する評価を大切にす。 ・家庭への通知では、関心・意欲を中心とした文章による評価を行う。		
(8) 成果と課題 ・村の環境についての理解を深めるために、役場の方を訪問したり、資源ゴミ回収の手伝いをしたりする計画、実践、反省、発表を生徒が主体的に行うことができた。 ・生徒の発想をもとに、深まりのある活動を進めていくことが難しい。活動当初の教師の計画のあり方や、活動途中での計画転換のあり方を今後も研究したい。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題